



USSグループは、オートオークション市場のリーディングカンパニーの立場から、お客様のニーズをマッチングさせ、中古車流通を促進させることで、環境負荷軽減に貢献し、ひいては地球環境を守りながら、社会的責任を果たすことができると考えています。また、廃車両を解体し、リユース部品とリサイクル資源に分別するリサイクル事業にも力を入れております。今後も事業内容に伴う環境負荷軽減だけでなく、以下の5つの環境方針のもと、環境保全活動に取り組んでまいります。

5つの環境方針

- 1 環境マネジメントの推進と法規制への対応と遵守
- 2 エネルギー消費の削減目標の設定と推進
- 3 中古車リサイクルの推進と環境負荷削減の推進
- 4 環境負荷削減目標に対する情報公開
- 5 全社員に対する教育と環境負荷削減活動の実行

環境マネジメント

USSグループは、事業活動を通じて発生する環境負荷をできるだけ低減するために、オートオークション会場の省エネ化やオフィスでの節電などに積極的に取り組んでいます。廃自動車リサイクルおよび各種のリサイクル事業を行う(株)アビゾでは、独自の「環境・労働安全統合方針」を策定。ISO14001の認証を取得し、環境安全事務局が中心となって環境マネジメントシステムを運用しています。近年、改正が続いているリサイクル関連の法規制に関しても、行政と連携しながら適切に対応しています。

環境法規制への対応

USSグループは、法令遵守の精神に則り、環境に関連する各種法令・条例に適切に対応しています。2020年度は、環境関連法令および条例への違反・係争事案はありませんでした。

重大な事故などの発生状況

2020年度、USSグループでは環境に関する重大な事故の発生はありませんでした。また、環境に対する苦情・相談もありませんでした。

気候変動への対応

USSグループは、地球温暖化を抑制して、自社グループの気候変動によるリスクの低減と、人やその他の生物が生息できる環境を守り持続可能な低炭素社会を形成していくため、エネルギー消費を抑え温室効果ガスの排出が少ないオークション運営をしていくことが、大きな社会的使命と考えています。

取り組み方針

エネルギー消費や温室効果ガスの排出が少ないオークション会場づくりを推進するとともに、グループ企業や業務委託先、オークション会員とともに省エネルギー活動などの地球温暖化対策を進め、低炭素社会の形成を目指します。

取り組み目標

エネルギー消費(原単位) 毎年平均1%削減

※当社が排出する温室効果ガスは、主にエネルギー消費による二酸化炭素(CO₂)であることから、温室効果ガス排出量の削減目標は定めていませんが、エネルギー消費量の削減目標を定め、取り組んでいます。
 ※当社のエネルギー消費原単位は、以下の計算式で算出しております。エネルギー消費原単位=エネルギー消費量(原油換算kl)÷オートオークション出品台数(千台)
 ※当社単体

●エネルギー消費原単位の年推移



エネルギー消費削減に対する外部評価

当社は、2018年、2019年、2020年の3年連続で、省エネ政策の事業者クラス分け制度における省エネが優良な事業者(Sクラス)と評価されました。この制度は、経済産業省が省エネ法の定期報告を提出するすべての事業者をS・A・B・Cの4段階へクラス分けするものです。今後も継続的に優良事業者を維持していけるようさまざまな省エネ活動をしていきます。

エネルギー消費量およびCO₂排出量

種類	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
エネルギー消費量(原油換算kl)	5,265	4,773	4,661	4,396	4,210
灯油(kl)	-	2	2	3	2
A重油(kl)	13	-	-	-	-
LPG(t)	24	53	179	159	184
都市ガス(千m ³)	57	144	81	71	93
電気(千kWh)	20,039	17,967	17,170	16,217	15,317
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	9,181	9,349	8,196	7,365	7,204

※当社単体

環境負荷削減への取り組み



エネルギー使用量の削減

●オートオークション会場での取り組み

名古屋会場の立体駐車場やオートオークション会場などの照明にLEDを導入し、既存オートオークション会場も順次切り替えを行っています。照明以外にも、空調設備の更新などによって省エネ化を図っています。また、将来的なBEV・PHEVの普及を見据えた会員サービス拡充のため、一部の会場で電気自動車充電設備を導入、今後も設備の拡充を進めていきます。

さらに、各会場では新電力を導入していますが、その選定にあたっては化石燃料の使用比率が低い事業者を優先し、エネルギーの効率的な運用に努めています。

●物流における環境負荷低減

当社では、(株)ユー・エス物流を通じて、お客様の物流面での支援も実施しています。陸上・海上の輸送手段を組み合わせた輸送手配を一括して行うことで、お客様の利便性を高めるだけでなく、車両輸送の効率化を通じて温室効果ガス(GHG)を削減することにより、環境負荷の低減にも努めています。



水資源

USSグループの事業活動は大量の水を必要としませんが、水資源の重要性を認識し、グループ全体で水使用量の削減に取り組んでいます。

それぞれの事業所では、洗車などの際の節水を励行しています。また、オートオークション会場での水使用については、排水による環境への影響を減らすために、法令に基づいて油水分離槽や浄化槽を設置し、排水を制御しています。



廃棄物

USSグループの事業所から発生する廃棄物は、各地域の条例などに基づき適切な分別を行っています。廃棄物の処理を外部業者に委託する場合には、厳正な審査を行って業者を選定するとともに、処理業者からのマニフェストを適切に管理しています。



リサイクル

(株)アビツの自動車リサイクル事業では、廃自動車から発生する鉄、アルミ、銅やレアメタルを含む金属類、プラスチックなどを高い精度で分別・再資源化しています。年間約15,000台の廃自動車を取り扱っており、重量比で97%のリサイクル率を実現しています。2019年度は、新規に月間1,000トンの処理能力を持つ雑品スクラップ専用の縦型シュレッダーを導入いたしました。中国が廃プラスチックの輸入を禁止し、国内での処理ニーズが高まっているといった情勢も踏まえ、今後も有効な設備投資を検討していきます。

事例：自動車シュレッダーダストの有効利用

自動車リサイクルの工程では、エアバッグやタイヤ、バッテリーなどの事前選別処理品目の回収が行われた後にシュレッダーダスト(ASR)が発生します。ASRは金属やガラス、セラミックス、合成ゴム、硬質プラスチック、軽量ダスト(発泡ウレタンや不織布など)の混合物で、分別ののち素材ごとに再資源化しています。

ASRから回収した軽量ダストは、塩素濃度が高く以前は燃料化が困難でした。この課題を解決するために、(株)アビツでは、軽量ダストに鉄粉を混ぜて成形し、高炉製鉄所のフォーミング抑制剤を生成することに成功しました。

また、アルミの製錬滓を混錬し電気炉製鋼用の昇熱材としてサーモリアクターも開発しました。このプロセスの実現により、年間で約7,000トンの軽量ダストの再資源化を実現するとともに、製鉄コストや最終処分量の削減、CO₂排出量の削減にもつながっています。



自動車シュレッダーダスト(ASR)の最終残渣から回収された金属類。濃縮された貴金属滓として金、銀、銅、パラジウムが回収される。



(株)アビツにて特許を取得した製鋼用副資材(商品名:サーモリアクター)